

共同助成(青森県遊技業協同組合)

「熊本復興ねぶた」事業

ラッセーラの声も勇ましく、ケツパレ熊本! 2018年も熊本城に青森ねぶたがやって来た!

2016年に震度7という大地震に見舞われた熊本県。現在も当時の地震と関係すると思われる地震が時折、起きている中、完全な復興はまだまだ先のことと言われている。地震で心身ともに疲弊した熊本の人々を祭りが秘めるパワーによって元気になってもらいたいと、遠く青森の地から伝統のねぶたとともにやって来た面々がいる。



「復興ねぶた」を告知するポスター



熊本城二の丸公園で盛大に運行された「ねぶた」

熊本城の公園に響き渡る「ラッセーラ」の声。 2日間で35,000人が詰め掛けた復興ねぶた

2016年4月14日以降に熊本県と大分県で相次いで発生した熊本地震。気象庁の観測では震度階級として最も大きい震度7が2回発生したほか、6強が2回、6弱が3回発生している。公共施設を活用した避難所、テント村、大型駐車場にとめた車内などの避難者は多い時で18万人以上に上った。熊本県の発表によれば、2018年9月時点においても、県内・県外を含め、24,580人の方々が応急仮設住宅等(建設型、借上型、公営住宅等)に入居している。

全国各地から義援金や物資などのほか、復旧作業のボランティア、励ましのメッセージなど有形無形の支援が届けられたが、熊本県から遠く離れた東北最北端の青森県からは「雄大な」支援が届けられた。国の重要無形民俗文化財にも指定されている「青森ねぶた」が、熊本城

二の丸公園で盛大に運行された。実施の中心を担ったのは、ねぶたを心から愛する青森在住の有志で結成された「一般社団法人復興ねぶた協議会」のメンバー。同協議会の発起人である外崎玄さんは、「熊本復興に向け、義援金ではなく、青森ねぶたという祭りを催すことで元気になってもらい、復興のエネルギーにしていきたいという気持ちを込めて、本プロジェクトを立ち上げました」と話す。

「ケツパレ(注:青森の方言で『がんばれ』という意味)熊本」のスローガンのもと、熊本復興ねぶたは2016年に第1回、翌年に第2回を開催し、第3回目となった2018年は9月1日~2日の2日間にわたって開催された。初日はあいにく雨で10,000人の来場者となったが、天気が回復した2日目は25,000人が会場に詰め掛け、囃子やハネト(注:山車の周囲で踊る人)と一緒に、「ラッセーラ、ラッセーラ」の元気な掛け声を響かせた。

大型ねぶたを分解してトレーラーで運搬。 地元とのコラボレーションで感動の渦に!

2018年の熊本復興ねぶたでは、両日とも熊本城二の丸公園の広場で10時から飲食ブースが並ぶ福幸マルシェ、ねぶたと熊本城のスケッチコンテスト&フォトコンテスト、熊本を本拠地としているプロバスケットボールチーム「熊本ヴォルターズ」の選手による交流会等の企画が用意された。メインとなるねぶたの運行は18時から20時まで行われ、大型ねぶた1台、小型ねぶた3台が登場した。ねぶたの運行で引き手となったのは、地元の鎮西高校サッカー部の部員40名だった。この事業では、3回とも青森から大型ねぶたを分解して大型トレーラーで運び、熊本の現場に設営したねぶた小屋で再度組み立てる方法をとっており、運搬費用等々で約2,000万円が必要になるという。AJOSCと青森県遊技業協同組合の助成は、そうした費用の一部として役立てられた。

「地震以来、一歩も外に出なかった小学校3年の女の子がねぶたを見てハネトの人たちと一緒に踊り出したと、その母親から涙ながらに聞かされたり、今回も感動の出会いがたくさんありました」と、外崎さん。来年以降もねぶ

たを運行してほしいという声が多く寄せられているという。なお、熊本復興ねぶたの模様は熊本の民放4社や新聞各社に取り上げられたほか、特別番組も制作されて放送された。

青森県遊技業協同組合より

青森の伝統文化を熊本で披露し、被災者のみなさんに「元気」を届けられたことを大変誇りに思います。これからも継続した復興支援に何らかの形で協力していきます。「ケツパレ熊本!」



青森から大型ねぶたを分解して大型トレーラーで搬入



2日間で35,000人が詰め掛けた「復興ねぶた」

助成団体:一般社団法人 復興ねぶた協議会

<https://www.fukkou-nebuta.jp/>



大地震からの復興の途上にある熊本の方々に元気を届けたい

今後、数十年続くと言われている熊本の復興。人々の心を明るく元気にするために、行政ではできない部分を私たちは続けていかなければと思っています。お陰様で2018年も事業を実施することができ、被災された方々に復興の灯りを見ていただくことができました。助成金をいただいたお陰で大赤字にならずに事業を終えることができました。ありがとうございました。

一般社団法人 復興ねぶた協議会
代表理事 外崎玄さん